

**児童発達支援保護者からの事業所評価表の集計結果（公表）**

（事業所評価実施日）：令和4年11月21日～令和4年12月23日 （公表）：令和 年 月 日

事業所名：児童発達支援センタースイスイなかま 保護者等数（児童数） 43名 回収数： 21名 割合： 49%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3				・それぞれ仕切りがあって集中できたり楽しんだりできる空間だと感じます。	今年度の4月に熊本県子ども総合療育センターからの支援もいただきながらゼロからの再構造化をおこないました。限られたスペースでの最大限の活動スペースの確保、わかりやすい導線の工夫をおこないました。今後も保護者の方の意見に耳を傾け、専門機関と連携をおこないながら過ごしやすい活動スペース確保に取り組んで参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2					切れ目のない継続した専門的サービスの提供ができるよう、計画的な人員の配置、人材の確保に努めて参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	6	1			・バリアフリーではないが、絵で表示してあるため、何の部屋なのか、どこに片付ければ良いのか視覚化されており分かりやすい。 ・トイレは子ども用が和式しかなく、洋式トイレは大人用で足が届かないため、あまり行こうとしない。	建物が古いこと、賃貸の物件であることからバリアフリー化をおこなうには限界があります。その様な中であっても特性に応じたちょっとした工夫によって出来るような配慮点を意識して考えて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	5	1			・冬は寒すぎます。	・以前からよく伺う意見です。建物が古いことから大変ご迷惑をお掛けしております。毎年度少しずつ各機器を増数し適正な温度管理に努めていきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	20	1					相談支援事業所を交えた担当者会議にて関係機関との情報共有をおこないます。各関係機関との連携を図りながら個別支援計画に充実させて参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	2		1		・計画をしっかりと立ててもらって勉強できて、身につけていっていると感じます。	家族療育をおこなっています。信頼関係を構築し、一緒に楽しく子育てをおこなえるよう無理のない支援計画を家族の方と一緒に考え取り組んで参ります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	3					保護者ニーズの確認をおこないながらも、お子様の今の発達段階もしっかりと照らし合わせ無理のない個別支援計画の作成に取り組んで参ります。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	18	1	1	1			発達状況に合わせて活動のプログラムができるように、活動後に全職員でカンファレンスをおこなってプログラムの検討を図って参ります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4	3	7		・今後の相談を親身に聞いてもらっています。	他の集団（保育園等）に所属されているお子様がほとんどです。その為、あえて他集団との交流おこなっておりません。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	3			1		契約時に説明しております。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21					個別支援計画は保護者の方の意見を伺いながら作成させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	15	3	2	1		令和3年度から取り組みをおこなっています。令和4年度も年長児の保護者を対象に希望者を募って実施をおこなっています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	18	2	1			・保護者の方に療育の参加時に療育記録表への記載を依頼しています。記録表内に今日の支援ポイントなど記載します。定期的に保護者の方へ療育支援実施内容に疑問がないかお尋ねして参ります。不明なところは遠慮なくお尋ねください。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	4	1			・随時、電話相談などを承ります。利用日以外でも気になることがあれば相談を承ります。担当職員のみでの回答が難しい場合は、児発管と協議を図りながら助言して参ります。また、専門的な機関等との連携も回り助言をおこなって参ります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	4	2	4		・勉強会等、平日はなかなか参加が難しいので、土曜日の開催があれば幸いです。曜日に分かれた週1回の療育や小グループ集団の療育であるため、保護者会同士の連携に至っておりません。今後、保護者間の交流が図れるようなことができないか、職員間で協議検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	2				保護者様からの相談、申し入れに対して関わる職員全員で丁寧な対応に努めて参ります。困難な事例の場合には、他の関係機関と連携を図りながら適切な支援提供をおこなえるよう努力いたします。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	4		1		保護者の気持ちに寄り添った支援を心がけ、相談しやすい環境に取り組んで参ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	4	2	1		今後も正確な情報発信に努めて参ります。情報交換のツールとしてLINEの活用をおこなっています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	3		1		個人情報取り扱いに十分注意を図って参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	2		1		各種マニュアルについては、事業所内の一角に設置しわかりやすい周知を図って参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21					年2回の定期的な防火訓練等の実施をおこないます。多機能型事業所ということで児童発達支援、放課後等デイそれぞれ1回の実施をおこなっています。すべての利用児童を対象とした訓練の実施は難しい状況にあります。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21					・勉強も嫌がらず楽しんで取り組んでいます。	全てのお子様楽しい活動をとおして自信を持てるプログラム活動を計画いたします。
	23	事業所の支援に満足しているか	19	2					全ての方に満足をいただけるよう、日々努力して参ります。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。